

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子	← 基本目標・政策・施策										主管所属	こども政策課																																																																										
R2	政策	1 安	この施策を担当する課名 →										担当課	こども政策課																																																																										
	施策	1 教																																																																																						
		SDGsゴール	1	2	3	4	5	10					事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)																																																																							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度					H30年度	R1年度	R2年度	R3年度																																																																										
コスト評価	施策事業費(予)		行政経営システムを本格的に稼働したのが令和3年度となります。										172,265																																																																											
	施策費/政策		そのため、システムに入力されていない数値は表示されません。										167%																																																																											
	施策事業費(決)		今後すべての数値が入り、比較できるようになりましたら「コスト評価」も行っていきます。										32,315																																																																											
	施策費/政策												145%																																																																											
		コスト分析と課題																																																																																						
指標評価	1 教育・保育サービスの充実を図ります		<p>施策の進捗状況を図るため、指標を設けています。施策指標には、事業を実施するうえで達成を目指す目標数値を設定しています。令和元年度から静岡県の評価基準を参考とした市の評価基準を設けています。現状値から目標値に向令和けて均等に推移した場合における各年度の数値を期待値として、令和2年度実績値の評価を行い、下表のとおり区分します。</p> <p>【評価区分】※施策評価の区分と同じです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>「R2実績値」が目標値以上のもの</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>「R2実績値」が「期待値」の+30%超過～「目標値」未満のもの</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>「R2実績値」が「期待値」の±30%の範囲のもの</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>「R2実績値」が「期待値」の-30%未満～「現状値」以上のもの</td> </tr> <tr> <td>現状値未満</td> <td>「R2実績値」が「現状値」未満のもの</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>統計値等発表前、当該年度に調査なし等</td> </tr> </tbody> </table>													区分	内容	S	「R2実績値」が目標値以上のもの	A	「R2実績値」が「期待値」の+30%超過～「目標値」未満のもの	B	「R2実績値」が「期待値」の±30%の範囲のもの	C	「R2実績値」が「期待値」の-30%未満～「現状値」以上のもの	現状値未満	「R2実績値」が「現状値」未満のもの	—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等																																																											
	区分	内容																																																																																						
	S	「R2実績値」が目標値以上のもの																																																																																						
	A	「R2実績値」が「期待値」の+30%超過～「目標値」未満のもの																																																																																						
B	「R2実績値」が「期待値」の±30%の範囲のもの																																																																																							
C	「R2実績値」が「期待値」の-30%未満～「現状値」以上のもの																																																																																							
現状値未満	「R2実績値」が「現状値」未満のもの																																																																																							
—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等																																																																																							
成果1	保育所等における定員	前年度																																																																																						
成果2	効率	歳児の確保に																																																																																						
		指標分析と課題																																																																																						
評価分析	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	業コスト評価	成果	効率	事業内容評価	判定評価	R4の方向性			R4年度																																																																												
					1	2	1	人件費	コスト	成果	改善	拡充化○ 縮減化△																																																																												
	1	幼保施設整備補助事業(保育)	重	こども政策課				E																																																																																
		<p>施策に紐づく事業についての内容評価となります。下表のとおり区分します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現状維持 (計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」)</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>生産性改善 (生産性が低い⇔「効率が悪い」)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>有効性改善 (有効性が低い⇔「効果が薄い」)</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>妥当性改善 (妥当性が低い⇔「市の実施根拠が薄い」)</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>抜本的改善 (改善要素が平均的に複数ある⇔「抜本的な変更」)</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>段階的縮小 (生産性・有効性が低い⇔「縮小」)</td> <td>F</td> </tr> <tr> <td>廃止 (有効性・妥当性が低い⇔「必要性が薄い」)</td> <td>G</td> </tr> </tbody> </table> <p>※空欄の部分は、今後評価できるよう準備していきます。</p>											事業内容	評価	現状維持 (計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」)	A	生産性改善 (生産性が低い⇔「効率が悪い」)	B	有効性改善 (有効性が低い⇔「効果が薄い」)	C	妥当性改善 (妥当性が低い⇔「市の実施根拠が薄い」)	D	抜本的改善 (改善要素が平均的に複数ある⇔「抜本的な変更」)	E	段階的縮小 (生産性・有効性が低い⇔「縮小」)	F	廃止 (有効性・妥当性が低い⇔「必要性が薄い」)	G																																																												
事業内容	評価																																																																																							
現状維持 (計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」)	A																																																																																							
生産性改善 (生産性が低い⇔「効率が悪い」)	B																																																																																							
有効性改善 (有効性が低い⇔「効果が薄い」)	C																																																																																							
妥当性改善 (妥当性が低い⇔「市の実施根拠が薄い」)	D																																																																																							
抜本的改善 (改善要素が平均的に複数ある⇔「抜本的な変更」)	E																																																																																							
段階的縮小 (生産性・有効性が低い⇔「縮小」)	F																																																																																							
廃止 (有効性・妥当性が低い⇔「必要性が薄い」)	G																																																																																							
		<p>課による施策の総合評価は、下表のとおり行っています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">施策の総合判定評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">選択</td> <td colspan="5">A計画どおりに施策を進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="5">B施策の進め方の改善検討</td> </tr> <tr> <td colspan="5">C施策規模・内容・主体の見直し検討</td> </tr> <tr> <td colspan="5">D施策の統合・解体の検討</td> </tr> <tr> <th colspan="6">R4年度の方向性</th> </tr> <tr> <td rowspan="6">選択</td> <th colspan="2">コスト</th> <th colspan="2">成果</th> <th colspan="2">改善</th> </tr> <tr> <td>・拡充</td> <td></td> <td>・拡充</td> <td></td> <td colspan="2">①施策の進め方</td> </tr> <tr> <td>・維持</td> <td></td> <td>・維持</td> <td></td> <td colspan="2">②施策規模</td> </tr> <tr> <td>・縮小</td> <td></td> <td>・縮小</td> <td></td> <td colspan="2">③施策内容</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">④事業主体</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">⑤事業統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">⑥事業休廃止</td> </tr> </tbody> </table>											施策の総合判定評価						選択	A計画どおりに施策を進めることが適当					B施策の進め方の改善検討					C施策規模・内容・主体の見直し検討					D施策の統合・解体の検討					R4年度の方向性						選択	コスト		成果		改善		・拡充		・拡充		①施策の進め方		・維持		・維持		②施策規模		・縮小		・縮小		③施策内容						④事業主体						⑤事業統合						⑥事業休廃止	
施策の総合判定評価																																																																																								
選択	A計画どおりに施策を進めることが適当																																																																																							
	B施策の進め方の改善検討																																																																																							
	C施策規模・内容・主体の見直し検討																																																																																							
	D施策の統合・解体の検討																																																																																							
R4年度の方向性																																																																																								
選択	コスト		成果		改善																																																																																			
	・拡充		・拡充		①施策の進め方																																																																																			
	・維持		・維持		②施策規模																																																																																			
	・縮小		・縮小		③施策内容																																																																																			
					④事業主体																																																																																			
					⑤事業統合																																																																																			
				⑥事業休廃止																																																																																				
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当																																																																																					
	改善・加える変化	菊川市幼保施設整備計画の中間見直しの中で、整備数に応じた見直しをする。放課後児童クラブについては、二化等により体制を強化する。																																																																																						